



令和6年8月5日（月）福山市立霞小学校

【夢あふれる学校図書館見学会の様子】



【アンケートより】

- 図書室が作業する場にもなっていることがいいなと思いました。自分の学生時代を振り返ると、図書館を自習室として使っていた経験がありました。学校の図書館でも自習室のような役割を生み出すことはできるのでないかと考えました。
- 学校図書館を人・もの・学び等で「つながる」場にしていくことが大切であると学ばせていただきました。図書館は、本を借りる場所、本に親しむ場所という固定概念にとらわれていた私でしたが、図書館を通して様々なつながりが生まれることを、図書館活性化に向けた取組説明を聞かせていただくことで実感しました。
- スタンプラリーなど様々な種類の本に親しむことができるような工夫、落ち着いて本を読んだり、絵を書いたり、調べ物を模造紙にまとめたりなどができる環境づくり、図書委員によるワークショップや読み聞かせなど「つながる学校図書館」とするための具体的な取組について学ぶことができました。
- 積極的な図書館の活用によって、本と児童との間に多面的なつながりが構築され、よりよい学びの環境となることを学びました。
- 学校図書館は、「実社会とつながる」「実体験とつながる」ことのできる場でもあるかなと個人的には思っています。物理的・環境的に見たり、ふれたりすることが難しいことを本が経験させてくれたり、これまでの経験で得た感覚とは違う視点を示されることで、経験を拡張させてくれたりします。本にはそんな力もあるなと考えました。

